

教科(科目)	公民(公共)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	第一学習社『高等学校 公共』				
副教材等	第一学習社『公共ノート』 浜島書店『最新区説公共』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	○地域社会と積極的に交流することで、各自の興味・関心に基づく課題を見出し、学習活動で得た知識・技能をもとに、論理的に思考し主体的に解決策を見出す能力を育成する。 ○自分の主張を分かりやすく他者へ伝え、異なる主張に対しても、協調的に意見交換しながら合意形成を図ることができる能力を育成する。 ○正解のない問いや、困難な状況に際しても、他者と協力して、粘り強く挑戦し続ける態度を育成する。 ○自分のよさや強みを自覚し、うまくいかない状況に際しても、自己をうまく管理する柔軟な態度を育成する。
カリキュラム・ポリシー	○情報端末や、教育サービスを積極的に活用し、すべての生徒が主体的かつ意欲的に学ぶことができる教育活動を展開する。 ○個々の生徒の特性や理解の状況に応じた最適な学びを提供し、かつ生徒が互いに交流しながら協調的に学びあえる授業を行う。 ○地域社会と連携することで、豊かな体験活動の場を設けながら、教科とも連携した探究学習を行う。 ○生徒が自らの学びを振り返るとともに、教師が指導の改善を図ることができる学習評価を行いながら、常に教育活動の質の向上を図っていく。

2 学習目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- (3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生きる国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3 指導の重点

大学進学・専門学校進学・就職など希望進路が多岐にわたっていることから、

- ① 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解することを目指します。
- ② さらに、それらの理解を活用して、多面的・多角的に考察し公正に判断できるようになることを目指します。
- ③ その他に、よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、合意形成や社会参画を視野に入れながら議論し、現代の諸課題を主体的に解決する態度を育てます。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	・ 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	・ 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ 単元テストの分析 ・ レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 単元テストの分析 ・ レポートやワークシート、提出物、論述課題などの内容の確認 ・ 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・ パフォーマンステストの内容 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ レポートやワークシート、提出物、論述課題などの内容の確認 ・ 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・ 振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点 「A:十分満足できる」「B:おおむね満足できる」「C:努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業 時数	教材名	学習活動(指導内容)	評価の 観点	評価方法
4	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち	4	1 社会に生きる私たち 2 個人の尊厳と自主・自律 3 多様性と共通性 4 キャリア形成と自己実現 1 伝統や文化とのかかわり	・ 公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決する方法を考え、議論し、表現する。	a, b	小単元テスト ワークシート 行動観察
5	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理	9	1 人間と社会のあり方についての見方・考え方 2 実社会の事例から考える～環境保護 3 実社会の事例から考える～生命倫理 1 公共的な空間を形成するための考え方 2 よりよく生きる行為者として活動するために	・ 公共的な空間でどのように生きるかについて、先哲の生き方などを参考に、人間としてのあり方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決する方法を考え、議論し、表現する。 ・ 公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則を関連させながら、現代の諸課題を主体的に解決する方法を考え、議論し、表現する。 ・ 自己評価シートをもとに、自己の理解度や主体性を振り返り、事後の学習に活かす。	a, b, c	単元テスト ワークシート 論述課題 自己評価シート 行動観察

6	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割 主題2 契約と消費者の権利・責任	8	1 私たちの生活と法 2 法と基本的人権 3 自由・平等と法・規範 4 法をよりよく変えていくために 1 さまざまな契約と法 2 消費者の権利と責任	- 法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決する方法を考え、議論し、表現する。 - 契約と消費者の権利・責任について、現代の諸課題を具体的な例をもとに、主体的に解決する方法を考え、議論し、表現する。 18歳成年をふまえ、契約に関する知識や問題を身近なこととして捉え、自分の行動のあり方について発表する。	a, b, c	小单元テスト ワークシート パフォーマンステスト 行動観察
7	主題3 司法参加の意義	3	1 裁判所と人権保障	- 司法参加の意義について、現代の諸課題を主体的に解決する方法を考え、議論し、表現する。 - 自己評価シートをもとに、自己の理解度や主体性を振り返り、事後の学習に活かす。	a, b, c	小单元テスト ワークシート 論述課題 自己評価シート 行動観察
9	第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論形成 主題5 国際社会と国家主権	7	1 選挙の意義と課題 2 政治参加と世論形成 3 国会と立法 4 内閣と行政の民主化 5 地方自治と住民の福祉 1 国家と国際法 2 国境と領土問題 3 国際連合の役割と課題	- 政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決する方法を考え、議論し、表現する。 - 地域や国の課題について、自分自身の問題として理解し、解決するための具体的な行動を表現する。 - 国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決する方法を考え、議論し、表現する。	a, b	小单元テスト ワークシート 行動観察
10	主題6 日本の安全保障と防衛 主題7 国際社会の変化と日本の役割	6	1 平和主義と安全保障 2 核兵器の廃絶と国際平和 1 今日の国際社会 2 人種・民族問題と地域紛争 3 国際社会における日本の役割	- 日本の安全保障と防衛について、国連憲章や日米安全保障条約、平和主義を掲げる日本国憲法の下、現代の諸課題を解決する方法を考え、議論し、表現する。 - 国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決する方法を考え、議論し、表現する。 - 国際平和の実現について、自分自身の問題として理解し、解決するための具体的な行動を論述する。 - 自己評価シートをもとに、自己の理解度や主体性を振り返り、事後の学習に活かす。	a, b, c	小单元テスト ワークシート 論述課題 自己評価シート 行動観察

11	第3章 経済的な主体となる私たち 主題8 雇用と労働問題 主題9 社会の変化と職業観	6	1 私たちと経済 2 労働者の権利と労働問題 1 技術革新の進展と産業構造の変化 2 企業の活動 3 農林水産業の現状とこれから	・雇用と労働問題について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考え、議論し、表現する。 ・社会の変化と職業観について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考え、議論し、表現する。	a, b	小単元テスト ワークシート 行動観察
12	主題10 市場経済の機能と限界 主題11 金融のはたらき	6	1 市場経済と経済運営 2 市場経済のしくみ 3 経済発展と環境保全 4 経済成長と国民福祉 1 金融の意義や役割	・市場経済の機能と限界について、現代の諸課題を主体的に解決する方法を考え、議論し、表現する。 ・金融のはたらきについて、主体的に考え、議論し、表現する。 ・自分の生き方もふまえ、自分の資産の扱いについてどうすべきかを考え、議論し、表現する。	a, b, c	単元テスト ワークシート パフォーマンステスト 行動観察
1	主題12 財政の役割と社会保障	6	1 政府の経済的役割と租税の意義 2 社会保障と国民福祉	・財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を主体的に解決する方法を考え、議論し、表現する。	a, b	小単元テスト ワークシート 論述課題 行動観察
2	主題13 経済のグローバル化	6	1 国際分業と国際貿易体制 2 国際収支と為替相場 3 経済のグローバル化と日本 4 地域的経済統合の動き 5 国際社会における貧困や格差 6 地球環境問題 7 資源・エネルギー問題 8 国際社会のこれから	・経済のグローバル化について、現代の諸課題を主体的に解決する方法を考え、議論し、表現する。 ・国際協力のあり方、国際協調の重要性から、日本の役割について自分自身の問題として、主体的に解決する方法を考え、議論し、表現する。 ・自己評価シートをもとに、自己の理解度や主体性を振り返り、事後の学習に活かす。	a, b, c	小単元テスト パフォーマンステスト 行動観察 ワークシート 自己評価シート

3	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	3	1 地球環境問題～排出量取引を考える 2 資源・エネルギー問題～ベストミックスを考える 3 生命倫理～ゲノム編集を考える 4 情報～インターネットによる投票を考える 5 国際社会の課題～フェアトレードを考える	・これまでの学習を活かし、現代の諸課題を主体的に解決する方法を考え、議論し、表現する。 ・年間自己評価シートをもとに、自己の理解度や主体性を振り返り、事後の学習に活かす。	a, b, c	単元テスト ワークシート レポート 年間自己評価シート 行動観察
---	-------------------------	---	--	--	---------	--

計 64 時間 (55 分授業)

7 課題・提出物等

- ・単元ごとに「単元テスト」を行います。
- ・学期ごとの「振り返りシート」を記入し、提出することとなります。
- ・随時「レポート」や「ワークシート」、「論述課題」の提出指示があります。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。

8 担当者からの一言

選挙権年齢も 18 歳に引き下げられ、昨年度からは成人年齢も引き下げられています。いっそう公民としての判断が求められる中で、まずは、基本的な社会のしくみや考え方、現代社会に生きる人間としての在り方生き方を学習し、社会で起こっている様々な事象を客観的・論理的に理解するところからです。そして、多様化する社会の中で、主体的に思考し判断できる力、また、自己の考えを論理的に表現する力を身につけ、自らの生き方を見出していった欲しいと考えています。自分を知り、互いの理解を深めあいながら、楽しんで学んでいきましょう。